

農業に情熱を

Passion for Agriculture



株式会社農業総合研究所

証券コード：3541

事業内容



Consignment Sale

農家の直売所事業

すべての小売業へ農産物直売所設置導入コーディネート

Distribution Sale

農産物流通事業

顔の見える生産直送農産物の提案

Consulting

農業コンサルティング事業

豊富な経験と実績から農業に関わるすべての業種へコンサルティング

Farmers **5,765**名
生産者

Stores **680**店
店舗数

Stations **57**拠点
集荷場

(2016年8月31日時点)



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ここに、農業総合研究所ビジネスレポートVol.1をお届けいたします。

私は、農作業から販売までの現場を経験し、持続可能な農業を実現するためには、ビジネスとして魅力ある農業の確立が必要であると考え、当社を設立いたしました。

そして、2016年6月16日に東京証券取引所マザーズ市場に上場することができました。これもひとえに、当社をご支援していただいた株主の皆様をはじめ、ステークホルダーの皆様のおかげであると感謝しております。

当社は、引き続き、事業拡大に邁進してまいりますので、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2016年11月 代表取締役社長 及川 智正



Q1 御社事業の特徴と強みをお聞かせください。

A1 当社は、農業にITを融合させて、新しい農産物流通を創造し続ける事業を行っています。主たる事業は、「農家の直売所」事業です。これは、当社や業務委託先が全国各地に「集荷場」を開設し、生産者（農家）がそこに農産物を出荷します。出荷された農産物を当社が全国のスーパー等に直接お届けし、スーパー等が、店内に設置された直売所コーナーで販売するという流通プラットフォームです。この一連のプロセスにおいて、タブレット端末やバーコード発券機などのIT機器が使用されます。

この流通プラットフォームは、既存流通の仕組みとの差別化を実現しています。生産者は、農産物の価格や出荷先（店舗）を自分で決められ、好きなものを自由に、規格外のものでも出荷できます。農産物が収穫の翌日にはスーパー等の店頭と並ぶため、消費者は鮮度の良いものを購入できます。また、直売所コーナーでは、生産者の紹介も行われているため安心して購入できます。スーパー等にとっては、直売所コーナーを短期間にイニシャルコストがほぼゼロで導入でき、在庫リスクがなく鮮度が高い農産物を陳列できるため、店としてのブランディングを向上させることが可能です。

このように、3者どの立場にとってもメリットがある仕組みであるため、当社ではこれを「三方良し」の仕組みと呼んでおり、既存流通にはない大きな強みであると考えています。

Q2 2016年8月期(当期)の業績と今後の取り組みについてお聞かせください。

A2 当期は、集荷場数が57カ所（導入産地23都道府県）に、登録生産者数は5,765名に、導入店舗数は680店舗にと大きく伸びたこともあり、売上高は1,195百万円（前期比35.2%増）、営業利益は156百万円（同251.1%増）、当期純利益は107百万円（同106.4%増）と、大幅な増収増益となりました。今期は、東証マザーズ市場に上場したことで当社への信頼性や知名度が向上することもあり、導入店舗数や登録生産者数がさらに増加し、業績は増収増益を見込んでいます。

今後の取り組みとしては、何よりもまず、登録生産者数、導入店舗数を増加させ、事業の拡大を優先させていきます。この事業拡大により、今まで以上にさまざまな情報が活用できるようになります。そこで当社は、2016年10月に株式会社NTTドコモと業務提携契約を結びました。生産者に貸与するタブレットでは、現在は都会のスーパーマーケット情報を流すだけの機能ですが、この機能をさらに拡充し、生産者と小売店、飲食店が直接つながるような新しいプラットフォームを構築してまいります。

また、当社の流通プラットフォームを海外に輸出していきます。このため、2016年8月に株式会社世界市場を子会社化しました。現在、香港において同社とともに取り組みを開始しています。この流通プラットフォームが海外でも通用すると判明すれば、その後はシンガポール、マレーシアへと進出していく予定です。

Q3 株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

A3 当社は、これまで応援していただいたステークホルダーの皆様のおかげで上場することができました。しかし、当社は現在、事業拡大に資本を集中していることもあり、株主の皆様には大変申し訳ございませんが、配当実施の可能性や実施時期については、未定とさせていただきます。

当社は、農業という急成長がない業界で事業を行っています。株主の皆様には、日本の農業の成長とともに、当社も長い目で応援していただければ幸いです。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

事業紹介

農業×ITベンチャー企業

ITを駆使し、クリエイティブに新しい農産物流通を創造し続ける会社



農家の直売所事業フロー



生産者メリット

- 販路拡大による所得増加が期待できる
- 品目・規格・数量など自由に決めて生産できる
- こだわりをもって生産した農産物を“顔の見える”形で生活者に届けることができる

スーパーマーケットのメリット

- 産直コーナーを低コストかつスピーディに導入することができる
- 集客効果による店舗全体の売上増が期待できる
- 商品供給、生産者管理、決算業務などの手間を省くことができる

農家の直売所事業

新しい農産物流通プラットフォーム

全国の生産者及び農産物直売所と提携し、当社集荷施設で集荷した新鮮な農産物を都市部のスーパーマーケットを中心としたインショップ形式の直売所で委託販売するプラットフォームを提供しております。生産者が農産物を規格にとらわれず自由に生産し、自ら販売価格や販売先を決めて出荷することにより、農産物出荷による所得拡大やこだわりをもって生産した農産物を“顔の見える”形で生活者に届ける流通を実現しております。

Consignment Sale



農産物流通事業

顔の見える生産者直送農産物の提案

国内外問わず多様な農産物流通チャネルを構築し、海外輸出入、PB向け卸取引、EC販売、ギフト商材、加工流通等を通して、生産者直送農産物の流通拡大に貢献しております。

Distribution Sale

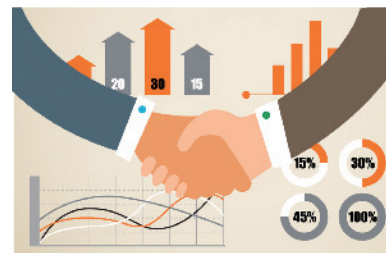


農業コンサルティング事業

農業へ関わるすべての業種へコンサルティング

農業参入企業や農産物直売所へのコンサルティングや6次産業化サポート等、農業に関わる生産、流通、販売をあらゆる切り口からコーディネートし、農業関連の経営支援、調査、ブランディング、講演を行っております。

Consulting



TOPICS

2016年6月16日に東京証券取引所マザーズ市場に 上場いたしました。

当社は、2016年6月16日に、東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。

これもひとえに、株主の皆様、お取引先の皆様をはじめ、関係者の皆様の温かいご支援・ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

これを機に、株式公開企業としての責任を自覚し、さらなる業容の拡大とともに皆様方に信頼され、広く社会に貢献できる企業となるよう、役員はじめ従業員一丸となって一層精励してまいり所存でございます。

今後の当社の成長に、ぜひご注目していただければ幸いです。



「日本ベンチャーアワード(JVA)2016」の経済産業大臣賞を 受賞いたしました。

「日本ベンチャーアワード(JVA:Japan Venture Awards)」は、革新的で、潜在成長力の高い事業や、地域の活性化に資する事業を展開している、志の高いベンチャー企業の経営者を称える制度で、独立行政法人 中小企業基盤整備機構が主催しています。2000年以来、255名のベンチャー経営者が受賞し、それぞれの事業とともに成長を遂げています。

当社は、2016年のJVAに応募し、見事に経済産業大臣賞を受賞いたしました(発表:2016年2月10日)。

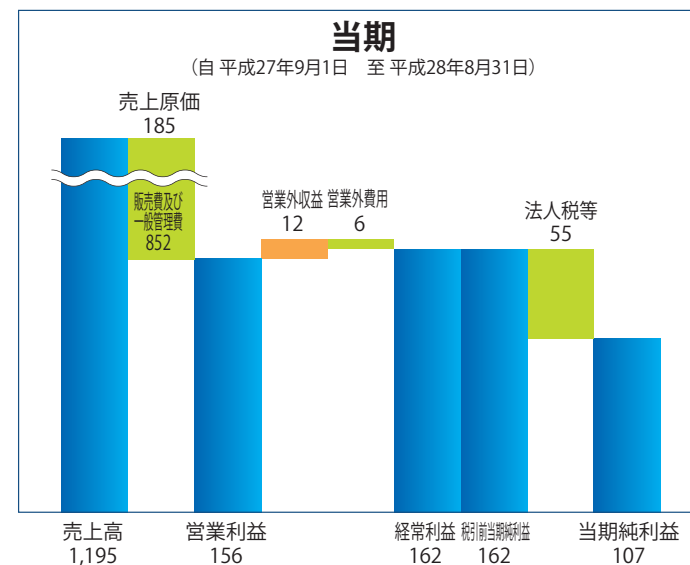
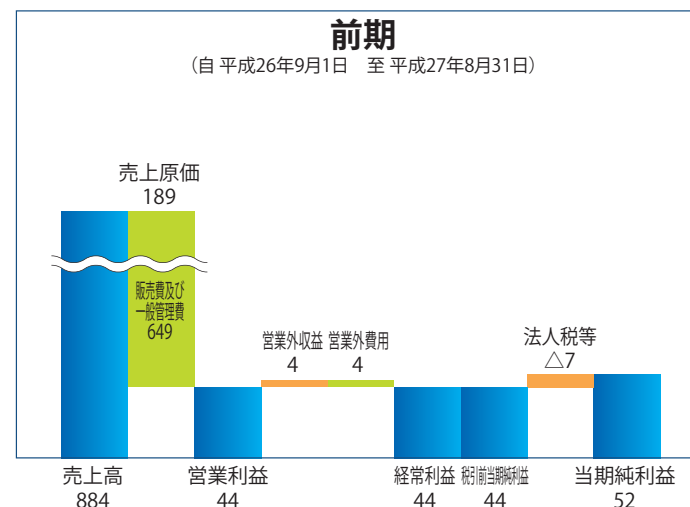
全国の生産者とスーパーマーケットを、ITを駆使してダイレクトにつなぐことで、顔の見える新鮮な農産物を自由に直売できるインフラシステムを提供し、「儲からない」と言われてきた農業を魅力あるビジネスに発展させた点が高く評価され、今回の受賞につながりました。



財務データ

損益計算書より

(単位:百万円)

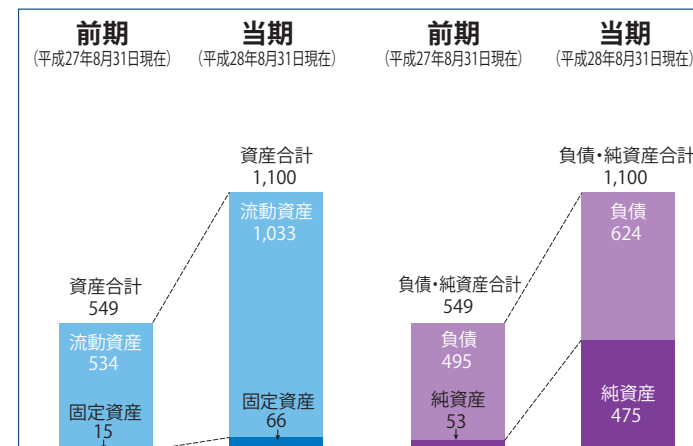


POINT

当期は、積極的にスーパーマーケット等の小売店との交渉や導入を進めこともあり、導入店舗数が拡大しました。また、登録生産者数も増加しました。これらの結果、売上高は前期比35.2%増の1,195,042千円となりました。売上高の増加に伴い、営業利益は同251.1%増の156,771千円、経常利益は同262.4%増の162,869千円、当期純利益は同106.4%増の107,476千円となりました。

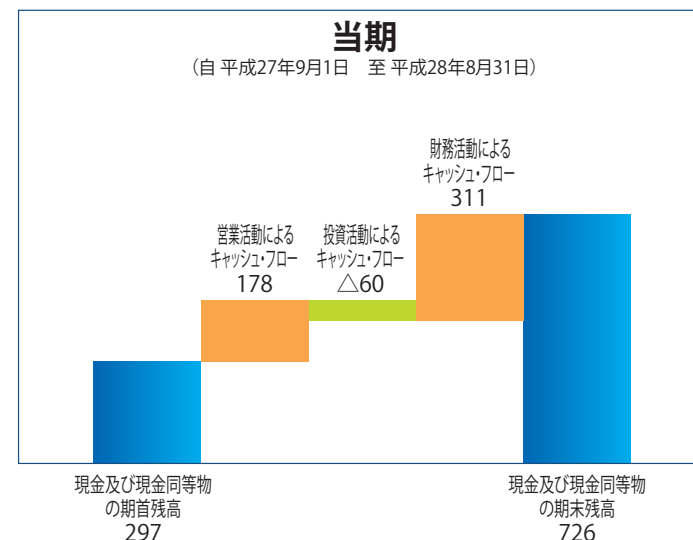
貸借対照表より

(単位:百万円)



キャッシュ・フロー計算書より

(単位:百万円)



POINT

現金及び預金、売掛金が増加したことにより、流動資産は前期末比499,368千円増の1,033,494千円となり、ソフトウェアや関係会社株式が増加したことなどにより、固定資産は同51,525千円増の66,832千円となりました。この結果、資産合計は同550,894千円増の1,100,326千円となりました。

負債は、主に買掛金や未払法人税等が増加したことにより、同128,985千円増の624,550千円となりました。純資産は、主に公募増資や第三者割当増資の実施などにより、同421,909千円増の475,776千円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは178,044千円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは60,463千円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは311,022千円の収入となりました。この結果、現金及び現金同等物の期末残高は、726,179千円となりました。

会社概要 (2016年8月31日現在)

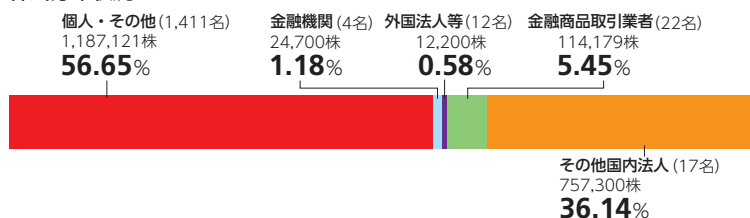
社名 株式会社農業総合研究所
和歌山本社 〒640-8341
和歌山県和歌山市黒田17-4 シャンドフルーレ2F
TEL: 073-497-7077 FAX: 073-497-7013
東京営業所 〒141-0021
東京都品川区上大崎2-25-5 久米ビル6F
TEL: 03-5436-4880 FAX: 03-5436-4878

代表者 及川 智正
資本金 199,216千円
従業員数 103名 (役員・パート含む)

株式の状況 (2016年8月31日現在)

発行可能株式総数 7,080,000株
発行済株式総数 2,095,500株
株主数 1,466名

株式分布状況



大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社プレンティー	720,000	34.35
及川智正	370,000	17.65
堀内寛	330,000	15.74
澁谷剛	100,000	4.77
農業総合研究所従業員持株会	41,700	1.98
株式会社SBI証券	26,800	1.27
野村證券株式会社	19,100	0.91
岩井コスモ証券株式会社	17,700	0.84
日本証券金融株式会社	14,200	0.67
松尾義清	13,000	0.62
坂本大輔	13,000	0.62

ホームページのご案内

当社ホームページは、IR情報や技術情報、会社情報等充実した内容となっております。

今後も株主の皆様に向けて当社の情報を提供してまいりますので、どうぞご覧ください。

<http://www.nousouken.co.jp/>



株主メモ

事業年度 毎年9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会 毎事業年度終了後3か月以内
株主確定基準日 毎年8月末日
単元株式数 100株
公告方法 公告方法は、電子公告としております。ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
なお、電子公告は当社ホームページに掲載しております。
<http://www.nousouken.co.jp/>

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
郵便物送付先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話番号 0120-094-777 (フリーダイヤル)
各種事務手続き 詳しくは、こちらのページにてご確認ください。
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株式会社農業総合研究所

〒640-8341
和歌山県和歌山市黒田 17-4 シャンドフルーレ 2F
TEL: 073-497-7077



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

